

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	環境厚生常任委員会 (意見交換会)		会議場所 全員協議会室
			担当職員 山末
日 時	令和2年2月28日(金曜日)		開 議 午後 1 時 30 分
			閉 議 午後 3 時 9 分
出席委員	◎並河 ○大塚 長澤 富谷 平本 三宅 小松 西口 (齊藤議長)		
出席者	<b>【亀岡商工会議所】</b> 川勝会頭、内藤副会頭、岸専務理事、木曾氏、野々村氏、山内氏 <b>【亀岡市商店街連盟】</b> 辻村会長、茅畠副会長 <b>【亀岡商業協同組合】</b> 福井理事長、井尻副理事長		
事務局	山内事務局長、山末主査		
傍聴者	市民 0名	報道関係者 7名	議員9名 (三上、山本、松山、小川、福井、藤本、木曾、竹田、菱田)

## 会 議 の 概 要

### 1 開 会

亀岡市議会環境厚生常任委員会委員長あいさつ  
(並河委員長あいさつ)

～ 13 : 33

### 2 出席者自己紹介

(各自、自己紹介)

～ 13 : 35

### 3 意見交換

テーマ「プラスチック製レジ袋の提供禁止に関する条例案について」

<並河委員長>

条例案に対する問題提起も含めて、意見をいただきたい。それでは、亀岡商工会議所から願います。

<川勝会頭>

商工業と環境は切っても切り離せないものである。プラスチック製レジ袋の提供禁止については多くの方が賛成だが、プラスチック製レジ袋は商業者の活動の中に入り込んでしまっており、お客さんにもレジ袋を使っている中で、それを禁止することについては、市民の理解や亀岡市外から買い物に来られた際の対応等、不安を持っている。我々としては、プラスチック製レジ袋の提供禁止に際し、市民や市外の皆様からの理解を得られるようなことを亀岡市からいろいろ提案してもらわなければ賛同できないと思っている。紙袋は費用がかかる。消費税増税や新型コロナウイルスの影響により売り上げが低迷している中で、よい施策を考えてほしいという意見もある。我々にとって不安のない、お客さんに勧めやすい環境をつく

ってもらえるようお願いしたい。また、亀岡商工会議所で実施したアンケート調査の結果等について、専務理事から報告する。

(資料配布)

<岸専務理事>

(資料に基づき説明)

<並河委員長>

これらの意見、報告に対して、各委員の意見はあるか。

<平本委員>

質問2で、「基本的には賛成だが、進め方等制定のプロセスは慎重に進めるべきだ」と回答されている割合が70%程度であるが、慎重に進めるべき点として、どのような意見があるのか。

<岸専務理事>

質問のその他の項目の部分に記載のとおり、賛否多様な意見が多数寄せられている。これらの意見を斟酌して意見提言書にまとめている。

<平本委員>

その他で、「自店の名前入りレジ袋の在庫が多数あり」という意見があるが、どの程度の在庫を抱えているのか把握しているか。

<岸専務理事>

各店において在庫調査を行ったわけではないが、100万枚の在庫を抱えている店もあるという話も聞いている。

<西口委員>

質問2で、「条例制定には反対だ」と回答した人が8.3%であったが、これらの人は、環境問題が生態系に与える影響をどの程度理解しているのかについて、把握しているのか。

<岸専務理事>

そういったところまでは確認していない。

<西口委員>

ジャパンタイムズの特派員が取材に来た際に、環境と経済はつながっているという話があった。これについての所見は。

<川勝会頭>

今後、環境と経済の結び付きはどんどん強くなってくると思う。国においては7月からレジ袋の有料化が施行されるが、これについては日本全国の人が知っていると思う。しかし、今回の条例は亀岡市のみの条例であり、市民や市外から訪れる観光客等、理解をいただいている人が非常に多い。そういった人が店に訪れた際に、トラブルにならないか非常に不安である。例えば、コンビニでは、お客さんが多く、アルバイトで対応することも多いため、しっかりと対応できるのか不安を持っておられる。そういった不安をできるだけ払拭いただくことが大事になると思う。また、紙袋についても、負担が大きくなってくるため、少しでも安く手に入れられる方法を検討し、実行していただきたいということが商業者の願いである。

<西口委員>

周知期間をどの程度設ける必要があるのかについて、議会としても協議していきたい。また、プラスチックごみが環境に与える影響について、周知徹底を図っていかなければならないと考えている。

<富谷委員>

意見提言書に「上記の意見(要望)に沿い難い場合は、周知期間を拡大するなど条

例施行期日の延期も含め、熟慮検討のうえ適切な対応をお願いします。」と記載されているが、どの程度の周知期間が必要と考えているのか。

<木曾氏>

先ほど、環境問題が大事だという話があったが、亀岡商工会議所としてもそのように考えている。しかし、レジ袋を廃止した場合に、紙袋の調達方法について、個人で買うのか、団体で買うのか、市で買ってもらえるのかなど、次の段階も考えておいてもらわなければならないと思う。次の段階が決まってから条例を制定すべきであると思う。また、昨年8月から協定によりレジ袋の有料化を行っているが、協定を結んでいない大型店もある。レジ袋を禁止しようとするのであれば、それに従わない店をそのままにするのではなく、大型店も小型店も一緒になってやっていってもらわなければならないと考えている。

<川勝会頭>

施行期日について、半年や1年の期間があればよいというものではないと考えている。行政が商業者の不安を払拭するため、PRにしても、しっかりと予定を立てて、それを実行していくことが大事だと思う。どれだけの期間を設けても、しっかりとやってもらわなければ意味がない。

<並河委員長>

次に、亀岡市商店街連盟から意見をいただきたい。

<辻村会長>

本日の意見交換会の開催が決定されてから、各商店街の意見の取りまとめを行った。その中で、別紙のとおり意見をいただいている。商店街連盟としても、協定を結んで進めてきた。その当時から、代替の紙袋の調達について、大量購入を行うことにより安価で買うことができるので、市が一括購入して、そこから小売店等が購入すればよいということを亀岡市にお願いしていたが、見積もりも何も出しておらず、話し合いもできていない。まずは、これに対する方向性を出示してもらい、いくらぐらいで紙袋を買えるのかを示してもらうことが第一だと思う。プラスチック製レジ袋から紙袋に変わると、小さなものでも10倍程度、大きな袋であれば50倍程度の単価になり、小売商業者にとっては非常に大きな痛手となる。マイバッグ持参率が100%になればよいが、ここ数年の間に持参率100%を達成するのは無理だと思う。亀岡市外から訪れる人でレジ袋の禁止を認識されていない人が来たときに、もめごとになることもあるかもしれない。商業者は新型コロナウイルス等により大変な時期で、疲弊している中で8月から施行するのは非常に厳しいと思う。商業者や消費者、市民への周知徹底を図る必要がある。先ほど環境に与える影響についての話があったが、そういうことも行政から啓発していくべきだと思う。また、このような代表者が集まる場ではなく、個々の商店街の店主が集まるような場で話を進めてもらわなければ、周知徹底していくのは難しいと思う。これまでに、各自治会を回ったりして説明会を行っているようだが、全市民のうち、説明会に参加した人は非常に少ない。条例案には反対していないので、今後も進めていってもらえればよいとは思いますが、公表の規定は必要ないと考えている。それとは逆に、2月に制定されたポイ捨て等禁止条例の過料はもっと増やすべきだと思う。

<茅渟副会長>

約1年前、市民ホールに集まった際に、大学の先生が、「亀岡でどこもやっていないようなことを1番に行ってアピールしましょう」と発言された。それまで反対の意見がたくさん出ていたが、「1番にやると国からいろいろなお金が下りてくるため、それを取りに行きましょう」という話をされると、反対の声もなくなった。し

かし、そのことについて、それから一切その話が出ない。その後、いろいろな人に聞いても「それは無理だ」という回答ばかりあった。あれだけ正式な場で大学の先生がそのような発言をして、亀岡市の職員も既にお金は用意できているような言い方で言っていた。あの時に反対意見を言う人を黙らせるために言ったのではないかと思う。また、先日にサンガの試合があり、出店している店の様子を見ていたのだが、その時に感じたことは、おそらく「レジ袋を使うな」という指示があったのだと思うが、お客さんがジュース2杯を紙コップに入れると、袋がないためにもう何も持つことができず、もっと買いたいのに持てないから買わないということが起こっていた。通常であれば商品を袋に入れるだけで済むのだが、お客さんに袋がないことを説明するにも時間がかかり、行列に並んでいても、試合が始まるために買うのを諦める人が何人もいたので、参考にさせていただきたい。私はアル・プラザで商売をしているが、アル・プラザの1月のレジ袋持参率は83.3%である。我々の店舗では非常に熱いものを扱っており、マイバッグを持ってこられても、それとは別に熱い物を入れるための袋を用意してもらわなければならない、非常に懸念している。現在でも多くの人マイバッグを持ってきていただいているが、たこ焼きや焼きそば等をそこにに入れてくれとは絶対に言えない。その辺も考慮いただき、紙袋で対応できるような形で、市にもあっせんしていただく中で、限りなく1円に近づくようになればよいと考えている。

<並河委員長>

これらの意見、報告に対して、各委員の意見はあるか。

<三宅委員>

プラスチック製レジ袋に代わるものがないといけないと思う。ポイントとなるのは周知期間や期限ではなく、代替品なのではないかと考えているのだがどうか。

<木曾氏>

紙袋を共同調達するのか、個人で購入しなければならないのかについての方向性が決まっていないため、発注することもできず、非常に苦慮している。

<長澤委員>

亀岡商工会議所から亀岡市に対して意見提言書を提出されているが、これについての回答はあったのか。

<岸専務理事>

1月20日に提言書を会頭から桂川市長に渡している。その後、2月4日に環境先進都市かめおか協議会が開催された際に回答をいただいた。

<長澤委員>

亀岡市の回答に対して、どのように受け止めているのか。

<岸専務理事>

それぞれの項目に対して回答をいただいたのだが、項目1の代替え容器・紙袋等の決定については、紙しかないとのことであった。項目2の、共同購入等の調達により安価で購入できる対策と公的補助の検討については、議会で条例が可決されれば、早速、共同購入の手続きを進め、公的な支援も考えていくとのことであった。項目3の使用中のレジ袋の在庫については、レジ袋の転用方法を検討し、情報を提供していくとのことであった。また、買い取りは行わないとのことであった。項目4、5のPRについては、環境ロゴマークを活用したポスター等を使用する中でできるだけPRに努めるという回答をいただいている。項目6の専用フリーダイヤルの設置については、専用ダイヤルの設置を含めて検討するとのことであった。

<長澤委員>

条例案では公表が規定されているが、これについてはどう考えているのか。また、議員の中には、ペナルティというよりも、努力している人を応援して表彰してはどうかという意見もあるが、これらについてはどう考えるか。

<辻村会長>

基本的に皆が取り組むことになるので、表彰は必要ないと思うが、公表に関しては、違反した場合に即公表すべきではないと思う。もし、ペナルティを受けた場合に、お客さんが一気に減るということも考えられるため、そのような規定を設けるのはどうかと思う。

<小松委員>

亀岡市は、学校や自治会等、市民向けの説明会を多く開催しているが、事業者向けの説明会や意見交換会は不十分だという認識なのか。

<茅島副会長>

商工業者向けの説明会は何度か開催されているが、ほとんど話が進展しない。いろいろな意見を言っても検討するという回答ばかりである。本日の意見交換会も含め、このような会に出席するために、アルバイトの出勤時間を増やし、お金をかけている。しかし、話が進展しないため、時間ももったいないと感じる。そういったことも踏まえ、袋がいくらになるのか等、明確な回答をいただきたいと思っている。亀岡市でまず1番に取り組み、お金を引っ張ってくるという話がよくできたものだと思う。先ほどもその件について話をしたが、それについて誰からも話をしてもらえない。おそらく裏で何かあるのではないかと感じている。

<小松委員>

亀岡商工会議所の感触はどうか。

<川勝会頭>

説明はしていただいているが、結論はなかなか言ってもらえない。条例が制定された際には、商業者に対して、こういう方法があるとか、Q&Aのようなものをつくるなど、しっかりとした説明をお願いしたい。

<並河委員長>

それでは、亀岡商業協同組合から、意見をお願いしたい。

<福井理事長>

基本的には賛成である。以前から、我々はマイバッグを持参するとエコポイントを1ポイント付与していたのだが、8月からは3ポイント付与している。参加する店もかなり増えてきており、今後もマイバッグ持参率が100%になるよう努力していくべきだと思う。協議会等でのいろいろな意見について、最初に出ていた意見に対する回答が全く返ってきていない。紙袋についても、大きさやデザイン、金額の提示等が一切されていない。また、パブリックコメントの結果を見ていたのだが、生鮮食品や惣菜等の購入時に使用する透明な袋は商品の個別包装と区別して考えるとのことであったが、これを見るまでわからなかった。もう少ししっかりとした説明が必要である。今のままでは、同じ袋が考え方によってレジ袋になったり個別包装になったりすることもあるのではないか。これらの問題についても解消してからスタートしてほしいと思う。

<井尻副会長>

今の時代、環境に全く関心のない人は少ないと思う。商業者についても同じで、クジラがプラスチックごみを食べている写真等を見て、このままでもよいと考える商業者はほとんどいないと思う。しかし、条例の施行に当たり、業種が多種多様な中で、何をどうしたらよいのかもわからず、皆が本当に困っている状態である。それ

は、説明が不十分であるということだと思う。私の認識では9月頃に条例の素案が出てきたと思うが、その時点で商業者も市民も非常に困ったと思う。その時に議員にいち早くヒヤリングをしていただき、商業者がどのように困っているのかも含めて聞いていただきたかった。また、世界に誇れる環境先進都市かめおか協議会が開催されているが、協議会では何をお願いしても答えが返ってこない。この協議会に議会の議員は傍聴されているのか、その議事録を読んでいるのか、どの程度中身を把握しているのかを知りたい。

<大塚副委員長>

会議録はホームページで公開されており、中身はある程度把握している。実際に協議会を傍聴している議員は少ないが、会派内で情報共有を行っている。

<並河委員長>

それでは、全般にわたって意見があればお願いしたい。

<平本委員>

これまでに建設的な議論ができていないことが不安要素であると思う。3月議会で審査を行うに当たり、この不安要素をどれだけ取り除けるのかも含めてしっかりと審査していきたい。

<三宅委員>

コンビニエンスストアの経営者にも出席いただいているので、意見をいただきたいと思う。

<山内氏>

賛成でも反対でもないが、当事者の気持ちになって考えてもらいたいと思う。関東では、有料化を行ったときに、売り上げが大きく落ちたとのことであった。我々にとっては死活問題である。いろいろな店を回ったり、事業者の意見を直接聞いたりするなどしていただきたいと思う。

<野々村氏>

先ほど、紙袋の共同購入の話があったが、例えば、紙袋を大量に購入した後に、さらに安い紙袋が出てくる場合も考えられる。大量に買えば安くなるという単純な発想が現場サイドの考え方ではないと思う。また、買い物客の大多数の人は賛成だと思うが、理解をいただけない人もいる。私は協議会のオブザーバーを務めており、その中でもいろいろな要望が出てくるのだが、検討するという返事しかない。検討するとは前向きなものなのか、やっぱりだめだということになるのかもわからない。この事業には賛成だが、理解をいただけない1割の買い物客に理解してもらう方策が見えてこない。コンビニでは1日に500～1000枚程度のレジ袋を使用する。売り上げが1%下がるのと純利益が1%下がるのではダメージが違う。市がどれだけのことをしようとしているのか、どのようなスケジュールで取り組むのかをしっかりと示してほしい。

<内藤副会頭>

私は仕事上、紙を扱っている。亀岡市からは代替袋は紙袋しかないという返事をいただいている。紙袋を作ろうとすると小ロットでは相当な費用が掛かる。何百万枚の在庫を抱えているところもあるという話があったが、それも本当の話だと思う。条例が急に施行された場合、大量購入をしようと思っても、1～2カ月程度では製造できないと思う。供給の目途が立つまでは条例を施行すべきではないと考える。

<川勝会頭>

マイバッグの持参率が80%を超えたという話があるが、それはあくまでも大きな店舗の話であり、例えばコンビニや小規模の店舗等ではほとんどの人がマイバッグ

を持参されていない状況であることを付け加える。

<富谷委員>

代替袋が今回の条例の大きなポイントとなると思う。代替袋が購入できてから条例を施行すべきと感じた。

<木曾氏>

そのとおりだと思う。そのあたりが確定してから条例を制定してもらえればと思う。

<岸専務理事>

紙袋を共同購入する場合に、亀岡商工会議所・亀岡市商店街連盟・亀岡商業協同組合に加盟していない商業者もいる中で、そういった事業者の需要を取りまとめるにはかなりの日数を要すると思う。条例案には施行期日を規則で定めることとされているが、当初予定していた8月では厳しいと考えている。

<木曾氏>

条例を制定してから考えるのではなく、全ての店で紙袋の調達の見通しが立ってから条例を制定すべきであると考えている。

<茅渥副会長>

当初は紙袋の大きさや金額の考えを提示されていたが、現在はその件も白紙になっている。その時にお金を引っ張ってくるという話があった。

<大塚副委員長>

私もその協議会を傍聴していた。大学の先生からそのような話もあり、議事録も残っていると思う。

<茅渥副会長>

今回の条例の件で、環境政策課長にいろいろなことを押しつけすぎだと思う。説明会等では叱責されるような場面もあり、心が折れてしまいそうなことがたくさんあると思う。もっとしっかりとフォローしなければならないと思う。

<齊藤議長>

補助金の話について、先ほど大塚副委員長から傍聴に行ったという話があったが、ほとんどの議員はこの件については知らない。裏で何かあるということもないのでご理解願いたい。また、個人の考えになるが、ポイントはマイバッグ持参率を100%にすることだと思う。今後、マイバッグを100%にする方法を提案できればよいと思う。京都府では、各家庭にあるマイバッグをシェアしていこうという話があり、亀岡市でもたくさんのマイバッグが眠っている。コンビニ等でシェアしていくことも1つだと思う。

～15:07

#### 4 閉 会

亀岡市議会環境厚生常任委員会副委員長あいさつ

(大塚副委員長あいさつ)

散会 ～15:09